

防災重点農業用ため池の防災・減災対策【農林水産省】

事業概要

全国約2,060か所(令和3～6年度の実績)の防災重点農業用ため池において、堤体の嵩上げ・拡幅、洪水吐きの拡幅・法面の保護・緊急放流ゲートの設置等の防災工事を実施

効果

大雨・地震によるため池の決壊を防止

全国的な対策と効果

対策1 堤体の嵩上げ・拡幅の実施



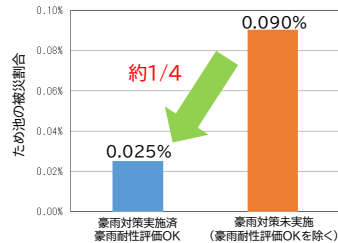
対策2 洪水吐きの拡幅・法面の保護・緊急放流ゲートの設置



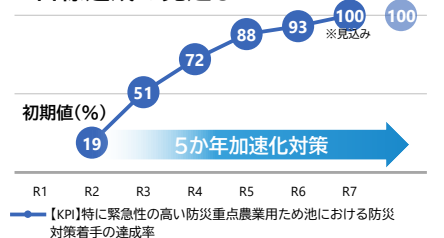
5か年加速化対策の効果

▶ 令和7年8月及び9月の大雨による、「豪雨対策実施済又は豪雨耐性評価で対策の必要なしと評価されたため池」の被災割合

⇒ それ以外のため池の約1/4



目標達成の見通し



予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
213億円	200億円	282億円
R6	R7	累計
223億円	65億円	983億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

効果発揮事例

倉谷池(ため池)の洪水吐きを拡張し、大雨による決壊や下流側の住宅被害を防止する



和歌山県



和歌山県橋本市



倉谷池の防災・減災対策

洪水吐きの整備状況



事業費

1.4億円 (うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.1億円)

事業の背景(地域の課題)

橋本市内の「倉谷池」は、決壊した際に人家や道路等に被害を及ぼす防災重点農業用ため池に指定されていますが、洪水吐きが狭く流下能力が不足しており、大雨時に降雨を安全に下流へ排出できず、堤体越流等により決壊するおそれがありました。

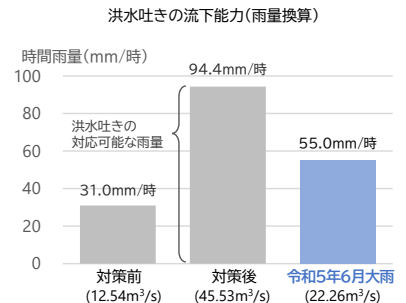
事業の内容

大雨によりため池が決壊しないよう、洪水吐きの流下能力を強化するための工事を実施しました。

効果

倉谷池の洪水吐きの越流幅を拡張し、流下能力を向上させる工事を実施した結果、令和5年6月の大雨時(55mm/時)では、洪水吐きが狭く流下能力が不足して、下流側の農地、住宅等における被害発生を防止することができました。

【ため池決壊による想定被害額】
農地・農業用施設等: 7.2億円
家屋・公共施設等: 6.0億円
総被害額: 13.2億円



人命・財産の被害最小化

激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

交通・インフラの維持

インフラの老朽化対策

施策のデジタル化

国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

災害関連情報の高度化

3